



石川県剣連だより
第26号
発行
石川県剣道連盟
広報委員会



シンボルマーク

ねんりんピック石川2010

剣道交流大会を迎えて

実行委員会委員長 柘谷 敏雄

期間 平成22年10月9日(土)～

10月11日(月祝)

て開催されます。

全国健康福祉祭は、スポーツや文化、

10月9日 総合開会式

県西部緑地公園陸上競技場

芸術活動などを通じて、高齢者自

剣道交流大会

10月10日 開始式・予選リーグ

10月11日 決勝トーナメント

会場 羽咋体育館

身の心身の健康や社会参加、生き

がいの高揚・増進を図り、活力に

満ちた長寿社会の形成に寄与しよ

うとする総合的な祭典であり、県

内13市町において24種目が開催さ

れます。剣道交流大会では、生涯

剣道の実践者で還暦を超えても尚

精進され、豊かな人生経験と稽古

に裏打ちされた心技両面の試合が

展開されます。

大会準備は、すでに石川県、羽

咋市等開催地で実行委員会が設立

され、ポスターなどによるPR、

キャンペーン、各種イベントの啓

蒙運動が実施され、着々と進んで

います。

剣道交流大会の運営については、

県剣連が主管となって実施しますが、

羽咋市と協力して進めています。

すでに昨年8月に北信越国体をリ

ハーサル大会として終え、本番を

迎える準備を行っているところです。

役員、補助員は県剣連会員、特に

地元会員、高校生に頑張ってもら

うつもりです。また、大会に附属

するイベントやもてなしなどで羽

咋市民のボランティアに活躍して

いただきます。

過去の本大会の優勝は、地元が

飾っています。当剣連としても

本県出場3チームのうち是非、

優勝を決めたいと念願しており、

昨年から大橋強化委員長を中心

に本格的に選手強化に取り組んでい

るところです。前回大会北海道・

札幌大会では第3位に入賞し、大

きな自信と励みとなっています。

しかし、札幌大会を視察してみま

すと、選手構成は過去に全日本選

手権大会の入賞者や国体等全国で

活躍した選手が多数参加しており、

この大会のスタート時のように単

に親睦や友好を深めて楽しむだけ

のものではなく、国体並みの充実

した大会にレベルアップしています。

この様な状況なので、優勝するこ

とは並大抵のことではありませんが、

残された日々を選手一同、一丸と

なつて乗り切り、皆様の応援で是非

美酒で祝えるよう頑張っていただ

きたいと思っています。

本大会を会員各位、羽咋市や関

係各位のご協力、ご支援で成功裡

に終了したいと思っていますので

よろしくお願いします。



剣道
羽咋体育館



千里浜なぎさドライブウェイ
羽咋市

ゆーりん
石川県の郷土の花「クロユリ」がモチーフ

剣道級位審査規則改正の要点

(趣旨)

第1条 この規則は、財団法人全日本剣道連盟が定める剣道級位審査規則に基づき級位の審査及び授与について必要な事項について定める。

(級位の区分)

第2条 級位は、一級から八級までとする。

(級位審査)

第3条 級位の審査は、実技及び木刀による剣道基本技稽古法の習得度について行う。

(審査方法等)

第4条 級位の審査方法、審査員、級位の審査料及び登録料等については「級位審査実施要領」の定めるとおりとする。

(審査の委任)

第5条 級位の審査は、加盟団体に委任して行うことができる。

(受審資格)

第6条 級位を受審しようとする者は、加盟団体の登録会員でなければならぬ。

2 受審者の年齢及び修業年限は規制しない。

(登録)

第7条 加盟団体の長は、一級審

査合格者について、剣道一級審査登録申請書により、石川県剣道連盟に登録しなければならない。

2 二級以下の審査合格者については、加盟団体に登録しておく必要はない。

(証書の発行)

第8条 石川県剣道連盟会長は、一級審査合格者に対し証書を授与する。

2 加盟団体の長は、二級以下の審査合格者に対し証書を授与する。

(審査の便法)

第9条 加盟団体の長は、六級以下の級位について、各剣道教室等の指導者の申請に基づき、当該級位を認定し、附与することができる。

2 中学生以上の者は、三級以上の希望級位を受審することができる。この場合において、受審以前の級位については認定審査とする。

3 警察本部長による級位認定は、加盟団体の長の認定した級位とする。

附則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

※居合道、杖道の級位は、一級から三級までとする。剣道の審査

規則に準じて平成22年4月10日から施行する。

級位審査実施要領

(審査方法)

1 級位の審査は、一級から八級まで行う。

2 審査員は、加盟団体の長の任命した剣道六段以上の資格を有する者3名で行う。ただし、剣道六段以上の資格を有する者がいない場合は、石川県剣道連盟会長の承認した者をもって充てる。

3 審査の可否は、審査員2名以上の合意により合格とする。

4 級位は、段階的に受審することが望ましいが、「何らかの事由」があつて飛び級審査をする場合、希望する級位以前の級位を認定審査とし、不合格の場合は、該当する級位を認定合格とすることが出来る。

(審査料及び登録料)

理事会で決定した金額とする。

(実技等審査要領)

1 一級から三級の受審者には、実技(切り返し及び稽古(60秒×2回))及び木刀による剣道基本技稽古法を実施する。

2 四級から五級の受審者には、

切り返し、稽古(30秒×2回)を実施する。

3 六級以下の受審者には、基本打ち(正面打ち)を実施する。

4 各級位は、剣道の礼法及び基本的な動作・技術の習得度により審査する。その際次の項目に重点を置く。

「実技審査項目」

級位	審査項目		
1級～3級	1 礼法・着装	2 間合い	1級 基本 1～9
	3 踏み込み足	4 一本打ちの技	2級 基本 1～6
	5 切り返し	6 稽古	3級 基本 1～4
※剣道基本技稽古法 基本 1～基本 9			
4級～5級	1 礼法・着装	2 構え方	3 足さばき
	4 一本打ちの技(面、小手、胴)	5 切り返し	6 稽古
6級～8級	1 礼法・着装	2 構え方	3 発声
	4 基本打ち(正面打ち)		

私にとっての武術稽古

居合道三段

養浩館 中谷 裕也



ぶざまな手を見て先生は「剣はやわらかく持つこと。タコやマメができるようではだめですね」と笑われたことを憶えています。あれから七年ばかりが経ち漸くこの頃「剣を握らない(持たない)」ことの大事の意味が薄々と分かり始めてきたように思います。



居合に初めて接したのは四六歳の時。高校卒業とともに中断した剣道を二五年ぶりに再開し数年経った頃のことでした。ご近所にお住まいの中村正平先生(居合道六段・剣道五段)とお話する機会があり、武道のことに話が及んだとき「剣道の修行にも役立つので始めてみなさい」と勧められたのがきっかけでした。

先生が部長を務められる養浩館に入門した当初は「剣で空を斬ることに何の意味があるのか」と怪訝に思いながらも、刃音の心地よさと漠然と感じる「奥深さ」のよくなものに惹かれ日を置かずのめり込んで行くことになりました。最初の頃は剣道の竹刀と同じように剣を扱ったのであつという間に手のひらはマメだらけに。その

「形」を遣う稽古も不思議なものでした。形にはそれぞれの「想定」があります。敵がこう打ち込んでくるのでこのようにかわし斬り従えるという攻防のストーリーを基に剣の角度や身体の位置を整えます。その整いかたの成否もつて練度とする——私は当初、形を遣う稽古をそのように考えていたのです。つまり「形とは実戦のシミュレーション」であり、見えない敵との攻防をいかにリアルに演ずるかが眼目であると。

しかし考えてみれば実戦で敵が形どおりに打ち込んでくることは百%ありえません。角度も違えばタイミングやスピードも違う。そこには無限のパターンがある。もし形が実戦をなぞるものなら、無数の形がなくてはならないことになりす。

ところが私が稽古している英信流には約四十本の形「しか」ありません。英信流が生まれてから四百五十年、先人たちが生死を賭した修行の中で残してきたのが「これだけ」の形ならば、形には実戦のシミュレーション「とは違う」何か別の意味や価値があるはずではないかと思うのです。それはあたたかも読み解かれるのを待っている「暗号」のようなものとして。



武道においては年齢に関わりなく素晴らしい動きをなさる先生方がいらつしゃいます。そこが加齢による筋力の衰えでパフォーマンスが低下してしまう「スポーツ」と違うところです。そうした先生方の動きを支えているのが「技」、つまり筋力に頼った日常的な身体運用とは別次元の動きです。修行者が「形」から読み解くべきものは、この「非日常的な身体運用の法」にこそあるのではないかと考えるのです。

例えば居合には「立膝」という独特な座り方があります。ここから様々な動きが展開されるのですが、立ち上がるうと尻の下に組み敷いた足に力を込めたたん気配が生じます。気配は武術にとって致命的な欠点です。気配なく動くため

には足を使わず踏ん張らず、すなわち筋力を使うことなく身体を精妙に操らねばなりません。おそらく立膝という座り方(形)が教えようとしているのは通常の足の使い方の否定であり、その非日常的な身体運用・操法によつてはじめて年齢や体格や筋力に左右されない自在で早い(速い)武術的な動きが可能となる、そういうことなのではないでしょうか。



前にいる敵に抜きついたり、敵の刀を斬り止めたり…と立膝から展開する様々な形がありますが、それらの形は「その足を使わず筋力に頼らず、前進・後退・旋回・横スライド…と、果たしてお前は自在に動くことができるのか?」と修行者に問いかけてきます。

「その形はいつたい何を教えようとしているのか?」。自在に動ける身体を目指し、一つ一つの形が発するこの問いに耳を傾け、自分の内部を探ること。それが私にとっての「稽古」であり、そうした稽古を通じて、そのきわめて些細な末端であれ、脈々と受け継がれる武術・武道の歴史と繋がって在ることの喜びを感じている次第です。

鹿西剣道教室

創設 昭和四十一年四月



永源功先生を中心
に、地域スポ
ーツ教室の先駆
けとして発足し

ました。「礼儀・規律・不屈・工夫・清潔」の五つの誓いの下、楽しくそして厳しく鍛え沢山の子供たちが巣立っております。指導員も、教室の卒業生を中心に徐々に変わっていきすが、皆指導する喜びを経験し、子供たちと一緒に成長しています。全日本剣道選手権にも三名の先輩が出席し、又県内各所に多くの指導者が活躍しています。

稽古日 毎週三回(月水金)

時間 二時間

指導者 城戸 昭二 四段

正谷 大輔 五段

近江 希文 三段

大森 泰良 三段

県下の剣道場・剣道教室めぐり

【指導方針・重視していること】

基本稽古を中心とし「強く、美しい剣道」を生涯にわたり続けることを指導員、教室生とも目標にしています。また小学生から一般まで対象とする、月二回のふれあい剣道を通じて町内の剣道教室との交流及び技術の向上を図っています。

【保護者からの「意見」】

子供達には鹿西剣道教室の活動を通じて、感謝の気持ちを忘れずに強い心と体を育んで欲しいと願います。また剣道教室で学んだ事を私生活や学校生活において活かして欲しいです。

【剣道を習って良かったこと】

- 大きい声が出せるようになった。
- チームワークの大切さを知りました。
- 強い心ができた。
- 挨拶がしっかり出来るようになった。
- 何事も積極的に取り組めるようになった。

大聖寺少年剣道教室

創設 昭和四十六年

市内の先生方のご尽力により創設され、昭和五十二年より完成した加賀市武道館にて稽古を行っています。

主な成績では昭和五十八年に全日本少年武道錬成大会で最優秀賞に輝いています。また、昨年度は出身者である米山友博先生が全日本選手権に出場されました。平日の稽古では市内の先生方に稽古を頂く機会が多く、諸先輩方に続けるよう稽古に取り組んでいます。

稽古日 週四回(水木土日)

時間 二時間〜二時間半

指導者 塩野 克幸 錬士七段

奥村 清和 錬士六段

打本 直哉 五段

前田 達明 四段



【指導方針・重視していること】

- 大きな声で稽古すること。
- 勝っても負けても一生懸命に取り組めるようになること。
- 低学年でも自分のことは自分ですること。
- 高学年になったら、小さい子の面倒をみれること。

【保護者からの「意見」】

- 学校以外での仲間ができて、多くの体験ができた。
- 入門時は自分で紐も結べなかったが、上級生になってみんなを引っ張っていくことが出来た。
- 他の道場との稽古や大会への参加ができて良かった。
- 稽古や大会など、団体での行動を多く経験できた。
- 【剣道を習って良かったこと】
- 大会でメダルをもらえて、嬉しかった。
- 厳しい稽古でも最後まで続けられるようになった。
- 学校で先生に姿勢が良いとほめられた。

(子供の声より)



【県内大会記録】

◎石川県高等学校新人体育大会剣道競技
11月12日(木)〜14日(土)
小松桜木体育館

〔男子団体〕

- 優勝：金沢桜丘高等学校
- 第二位：金沢泉丘高等学校
- 第三位：星稜高等学校
- 第三位：羽咋高等学校

〔女子団体〕

- 優勝：羽咋高等学校
- 第二位：金沢高等学校
- 第三位：日本航空高等学校
- 第三位：星稜高等学校

〔男子個人〕

- 優勝：竹越 歳樹(桜丘高)
- 第二位：山嶋 大雅(桜丘高)
- 第三位：米尾 皓正(桜丘高)
- 第三位：松本 暁市郎(桜丘高)

〔女子個人〕

- 優勝：森田 結衣(星稜高)
- 第二位：山本 早紀(羽咋高)
- 第三位：宇波 里沙(羽咋高)
- 第三位：澤田 有(星稜高)

◎第38回石川県スポーツ少年団剣道大会
12月6日(日)いしかわ総合スポーツセンター

〔団体の部〕

- 優勝：宇ノ気
- 第二位：鹿西
- 第三位：警察学校
- 第三位：辰口

〔小学四年男子の部〕

- 優勝：四郎丸 将己(森本)

- 第二位：下池 祐太郎(横山)
- 第三位：木村 勇貴(野々市)
- 第三位：中村 祐馬(金沢星稜倶楽部)
- 〔小学五年男子の部〕
- 優勝：中越 泰士郎(邑知)
- 第二位：徳田 翔(遊神館)
- 第三位：川上 修人(アカシア)
- 第三位：南 響紀(川北町)

〔小学六年男子の部〕

- 優勝：駒井 奨(鹿島)
- 第二位：加藤 浩太(野々市町)
- 第三位：菊池 俊輔(内日角)
- 第三位：小村 湊太(森本)

〔小学四・五・六年女子の部〕

- 優勝：横井 唯伽(千里浜)
- 第二位：林 千香子(鹿西)
- 第三位：佐竹 結衣(美川)
- 第三位：四郎丸 美里(森本)

〔中学男子の部〕

- 優勝：曾良 衡人(川北町)
- 第二位：栞田 拓真(遊神館)
- 第三位：松本 匡央(大崎)
- 第三位：山崎 潤也(金丸)

〔中学女子の部〕

- 優勝：西出 奈々(野々市)
- 第二位：森田 真衣(松陽)
- 第三位：細川 栞(金丸)
- 第三位：山田 泉美(宇ノ気)

◎第18回松本旗争奪

石川県高等学校選抜剣道大会

1月24日(日)川北町総合体育館

〔男子団体の部〕

- 優勝：金沢桜丘高
- 準優勝：金沢市立工業高
- 第三位：石川県立工業高
- 第三位：金沢高

〔女子団体の部〕

- 優勝：星稜高
- 準優勝：羽咋高

- 第三位：日本航空高
- 第三位：金沢高
- 男子桜丘高、女子星稜高は全国高校選抜大会出場を決めた。

◎第43回新春森本剣道大会

2月7日(日)森本市民体育館

〔団体の部〕

- 優勝：金沢星稜大A
- 準優勝：金沢大A
- 第三位：金沢刑務所A
- 第三位：金沢星稜大B

〔個人の部〕

- 優勝：安田 廉平(星稜大)
- 第二位：金村 正(星稜大)
- 第三位：大坪 尚樹(北陸総合警備)
- 第三位：大野 優樹(稲置学園)

◎第24回石川県中学生選抜剣道大会

5月20日(日)かほく市宇ノ気体育館

〔男子団体〕

- 優勝：宇ノ気中学校
- 準優勝：川北中学校
- 第三位：羽咋中学校
- 第三位：東和中学校

〔女子団体〕

- 優勝：鹿西中学校
- 準優勝：森本中学校
- 第三位：津幡中学校
- 第三位：宇ノ気中学校

〔男子個人〕

- 優勝：山崎 輝也(鹿西)
- 準優勝：松本 匡央(宇ノ気)
- 第三位：加藤 大輝(野々市)
- 第三位：駒井 剛(鹿西)

〔女子個人〕

- 優勝：木島 美美(鹿西)
- 準優勝：森田 はるか(森本)
- 第三位：喜多 美月(森本)
- 第三位：森田 真衣(笠間)

◎第58回全日本都道府県対抗

剣道優勝大会県予選会

2月14日(日)白山市白山郷武道館

- 先鋒 竹越 歳樹(金沢桜丘高)
- 次鋒 山路 亮吾(大阪学院大)
- 五将 佐藤 博之(北陸総合警備)
- 中堅 本吉 秀充(高松中教)
- 三将 中村 直紀(県警機動隊)
- 副将 塩野 克幸(金沢刑務所)
- 大将 本橋 克也(鹿西高教)
- 七名が石川県代表選手に決定した。

【全国大会・県外等の記録】

◎第48回全日本女子剣道選手権大会

9月27日(日)藤枝市

石川県代表選手

藤田 涼香(城北病院職員)

一回戦

藤田 一コ 西口(愛知)

◎第4回全日本都道府県対抗

少年剣道優勝大会

9月20日(日)大阪市

〔中学生の部〕

予選リーグ

石川

群馬

大阪B

鳥根

〔小学生の部〕

予選リーグ

石川

福岡

高知

◎第22回健康福祉祭剣道交流大会

9月6日(日)〜7日(月)札幌市

予選リーグ

石川 3-2 愛知

石川 3-0 東京A

決勝トーナメント

石川 3-1 札幌A

石川 2-2 長崎

(本数勝ち)

高知 3-2 石川 3位
 団体
 ◎第64回国民体育大会 剣道競技
 10月3日(土)~5日(月)
 長岡市砺尾体育館

〔成年男子 二回戦〕
 香川 3-1 石川
 ○松本④コー 上登④
 ○小川⑥メコー 星野⑤
 ○山内⑦ーメ 杉本⑦○
 ○松本⑧メメコー 山田⑦○

〔少年男子 一回戦〕
 北海道 3-1 石川
 ○清野③メワード 宮川③
 ○高松②ーメ 竹越②○
 ○千徳②メー 藤井②○
 ○中島③メメー 山嶋②○
 ○三浦③(引分) 土谷②○

〔少年女子 一回戦〕
 長崎 4-1 石川
 瓜生③ーメコ 高島②○
 ○岩本③ココー 谷②○
 ○横尾③メメー 澤田有②○
 ○小森田③メコー 澤田真②○
 ○平石③メー 長塚②○

◎第57回全国警察剣道大会
 10月21日(水) 日本武道館

〔一次リーグ〕
 石川 1-2 長崎
 石川 3-2 長野

◎第44回全日本居合道大会
 10月24日(土) 鳥原市

〔石川県代表〕
 五段の部 山口 春夫
 一段の部 ビットマン・ハイコ

一回戦敗退
 三回戦敗退

七段の部 松原 剛
 一回戦敗退

◎第57回全日本剣道選手権大会
 11月3日(祝) 日本武道館

石川県代表選手
 米山 友博(県警機動隊)
 一回戦

◎第51回大阪居合道大会
 12月6日(日)

米山 一コ 米屋(埼玉)
 六段の部 3位
 作田 剛也(県立武道館)
 七段の部 優秀演武賞
 河西 洋治(独行堂)

◎第19回庄川清流杯北信越高校
 2月6日(土)~7日(日)

新人剣道大会
 庄川体育センター

〔男子団体〕
 準々決勝
 新潟一 1-0 泉丘
 桜丘 4-0 高田

準決勝
 新潟商 2-1 桜丘

〔女子団体〕
 準々決勝
 星稜 1-1 新潟中央

(代表勝ち)
 新潟明訓 1-0 羽咋
 新潟明訓 3-1 星稜

◎第19回全国高校剣道選抜大会
 3月27日(土)~28日(日)

春日井市総合体育館

〔男子 一次リーグ〕
 〔I組〕
 金沢桜丘 1-1 PL学園

(本数勝ち)

金沢桜丘 1-1 大分
 (本数勝ち)

〔女子 一次リーグ〕
 [D組]
 東海大相模 1-1 星稜
 (本数勝ち)

星稜 1-0 桜ヶ丘
 男子 決勝トーナメント
 一回戦
 明德義塾 4-1 金沢桜丘

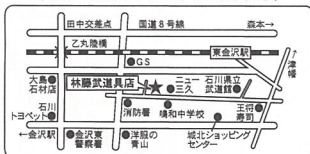
審査会合格者

剣道 七段 齋藤 實 宮谷 順二
 石田 良成 山森 宣和
 蓮本 英樹 塩野 克幸
 内田 健二 安本 正道
 山田 実 松本 悟
 六段 龍雄 小田 佳子
 辻 幸裕 辰巳 明伸
 近江 政浩 松井 道夫
 松井 道夫 松井 道夫
 五段 道夫 松井 道夫
 木村 幸生 中村 貢
 飯田 勝也 木原 伊織
 内田 健太郎 木原 伊織
 下崎 良智
 七段 竹松孝代志

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
 Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
 E-mail:budou@po3.nsknet.or.jp

〔営業品目〕
 剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
 (刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



●定休日/月曜日



金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
 〒921-8065 FAX 249-9139